

和歌山市 最高！

5 班

＜結構凄い！不老橋＞

不老橋は、片男波松原にあった東照宮おびた所の移築に際して、紀州徳川家十代藩主であった徳川治宝の命により、1850年着工し1851年に完成したアーチ型の石橋である。この橋は、あの有名な誰もが知っている徳川家康がまつる東照宮のしゃれいである。和歌際のときに、徳川家康や東照関係の人々が御旅に向かうため、通行した「おなり道」に架けられたものである。

江戸時代のアーチ型石橋は九州地方以外ではたいへんめずらしく、特にこうらん部分の彫刻が優れている。機械も無い時代に人の手作業ですごくきれいな彫刻を彫っていてすごいなあと思いました。



《不老橋の修復について》



平成27年度に橋の欄干・親柱の一部が破損したため、平成28年度に国庫補助事業を受けて、修復を行いました。

親柱については、元のまま設置すると親柱の重量で風化している柱材を傷める可能性があったために次善の措置として、樹脂で複製品を製作し設置しています。なお、不老橋は設置されてから、160

年以上が経過しています。欄干部分など通行の際は十分に気をつけて下さい。

感想

片男波公園で昼ご飯を食べて少し遊びました。まさか浜辺で遊べるとは思っていませんでしたので楽しかったです。

他にも色々あって騒がしい時もあったけど、また行きたいなあと思いました。